

知床五湖地上遊歩道再整備意見交換会の結果について

釧路自然環境事務所
ウトロ自然保護官事務所

知床五湖地上遊歩道の再整備について、地元関係者との意見交換会を行った。I 地点の取扱い、P 地点の取扱い、大・小ループのコースどりにおける見所を中心として、様々な視点による意見が出された。概要は以下のとおり。

開催日時 平成 29 年 12 月 5 日（火）13:00～
場所 知床世界遺産センター レクチャールーム
参加者 裏面のとおり

意見交換の進め方

1. 環境省の整備担当から、現在の知床五湖地上遊歩道の整備案、スケジュールを説明。
2. 参加者が 4 グループに分かれ、各グループで整備案に対する要望、改善策等を意見交換。
3. 各グループが順に発表し、環境省がコメント。

主な発表意見と環境省コメント

場所	参加者意見	環境省コメント
五湖	デッキサイズ(10 人規模)が混雑の割に小さい。もっと大きくすべき。	対応できない。これ以上の混雑は入れ込む利用者数の調整で対応すべき制度の場所であるため。
F 地点、H 地点	湖が最初に見える場所には必ず人が入る。入らないように誘導標識を立て、展望地までの距離を示す。	簡易な誘導標識を整備する。
I 地点	廃止しないで欲しい。J 地点との風景に差があるほか、階段を降りる人を待つ場所である。	リニューアルする(現状のものを撤去し、再整備する)。
P 地点	大ループ利用者にも利用させたい、デッキは現状より少し大きくして欲しい	大ループ利用者も P を通過するコースに変更し、デッキサイズは可能な範囲で対応する。
大小ループの合流以降の歩道	合流後は人が多くなるため、道を広くとって欲しい	既存の歩道は、複線の間を埋める形等で、新整備箇所は一定の幅を確保できるように努める。
小ループの β 地点	小ループの見所を確保するため、展望地とした	展望地の整備までは行わないが、支障木伐採で眺望を確保する。
全体について	解説標識を充実すべき	解説標識はおかず、ガイドの説明や配布マップ等で対応の方針。

遊歩道整備意見交換会参加者

1	斜里バス株式会社	社長	下山 誠
2	知床斜里町観光協会	事務局長	喜来 規幸
3			林 典幸
4	知床財団	公園事業係	秋葉 圭太
5	知床ガイド協議会		綾野 雄次
6	〃		寺田 紋子
7	〃		笠井 文考
8	〃		岩山 直
9	〃		畑谷 雅樹
10	〃		吉川 和成
11	〃		佐藤 清光
12	オホーツク総合振興局環境生活課		小俣 徳弘
13	〃 知床分室		石井 弘之
14	自然公園財団知床支部	主任	向山 純平
15	ユートピア知床	五湖店長	畠山 正揮
16	ウトロ地域協議会		松本 鉄男
17	〃 飲食店部会		佐藤 正吾
18	〃		梅沢 征雄